



発行：風の松原に守られる人々の会 事務局：〒016-0805 秋田県能代市大手町3-38 成田憲太郎方 電話0185-52-6316

会設立からの歩み

今号には平成21年4月から21年8月までの活動を記録。見出し番号は創刊号からの通し番号です。

120 平成21年度総会の様子



4月10日(金)
午後1時30分
から今年度総会
が能代市中央
公民館で開催
された。

総会には国の機関である米代西部森林管理署から4月の人事異動で赴任された流域管理調整官の谷藤忠志氏と総務課長の加藤忠久氏、秋田県山本地域振興局から森づくり推進課長の草薙光氏、能代市から農林水産課長の渡部信之氏が出席された。



進藤日出男さんを議長に選出して議事を進行。今年は質問が多く出され、例年になく活発な総会となった。質問の中には「総会の曜日が毎年金曜日なので勤務の都合で出席できない人がある。土か日にも開いてほしい」「会の方針にあるく啓蒙・啓発を重視した活動を行う」という文言を変更してはどうか」「市民ボランティア大会に参加している会員数を明示してはどうか」などであった。

今年度の「予算書(案)」の中の「樹幹注入」について事前に配布した予算書(案)と総会で配布された「差し替え版」について質問があった。これは20年度の「樹幹注入」の費用を秋田県水と緑の森づくり税の補助を受けて実施し特別会計とした。21年度も補助金の申請をしているので、特別会計を加えた「差し替え版」を総会で配布したが、その際に一般会計予算書案の訂正に手抜きがあったことを会計担当が説明して了解していただいた。



福司和夫副会長と秋林弘道事務局長の辞意を受けて行われた役員改選では、新たに小嶋康太郎氏が副会長に選

出された。

総会終了後の第1回役員会では成田憲太郎氏が事務局長に委嘱された。

右の写真中央は新事務局長の成田憲太郎さん。



また本会前会長の梅田市美さんが特に発言を求め、「能代市風の松原保護検討協議会の概略と私の願い」というプリントを配布して保護検討協議会の動きと佐賀県唐津市の虹の松原の現状について説明した。

新役員メンバーは、鷲尾禮次郎会長、浅野ミヤ副会長、安井昭彦副会長、小嶋康太郎副会長、佐々木利雄監査、塚本誠子監査、成田憲太郎事務局長、小林勝平事務局員(広報担当)、伊藤昭子事務局員(会計担当)、桜田隆雄事務局員(事業担当)となった。

121 バードウォッチング

4月25日(土)午前6:00~7:30まで恒例となったバードウォッチングが行われた。この行事は本会発足以来毎年春に行われているので今年で9回目。陸上競技場本部付近に集まった人たちは約25名。本会の会員である渡邊進さんがガイド役となって説明しながら今では小径が消えかけて藪となった場所を歩いたりした。



陸上競技場に戻ってからの鳥合わせによると、この日観察したのは15種だった。

122 風の松原を守る市民ボランティア大会

ゴールデンウィーク最終日の5月6日(水)、9:00~11:30分 本会も主催団体になっている「風の松原を守る市民ボランティア大会」が開催された。北羽新報の報道によると、今年の参加者は約750名、そのうち本部前に立てた「風の松原に守られる人々の会」

の旗の近くで確認できた本会会員数は16名。うち5名が作業リーダーとして参加した。北羽新報記事によると、10トトラック5台分、2トトラック25台分の枯れ松等が能代バイオマス発電所に運ばれた。



123 入会案内パンフレット完成

秋田県水と緑の森づくり税に基づく森林ボランティア活動支援事業の助成を受けて作成していた「入会案内」が出来上がりました。この冊子には会報「松風」創刊号から第003号までの復刻版が掲載されている貴重なものです。会員の高齢化が懸念されている昨今ですが、入会申込はがきが印刷されていますので、新会員の獲得に活用して下さるようお願いします。



秋田県水と緑の森づくり税に基づく森林ボランティア活動支援事業の助成を受けて作成していた「入会案内」が出来上がりました。この冊子には会報「松風」創刊号から第003号までの復刻版が掲載されている貴重なものです。会員の高齢化が懸念されている昨今ですが、入会申込はがきが印刷されていますので、新会員の獲得に活用して下さるようお願いします。

124 春の「風の松原観察会」開催



6月5日(金)午前9:30～11:30 陸上競技場本部脇に集合した約40名の会員や一般市民はジョギングコースのスタート地点からウッドチップ歩道

No.1～No.2～No.8～No.9～陸上競技場本部脇のコースを2班に分かれ、草木の説明を聞きながら歩いた。今年は例年より遅い時期だったので、咲いている花は多くなかったが、それでもカンボク、ヘビイチゴ、ハルシオン、ダイコンソウ、ブタナ、カキドウシ、ヒメオドリコソウ、シャガなどを観察することが出来た。



125 ニセアカシア萌芽除去作業

今年度第1回ニセアカシア萌芽除去作業は6月19日(金)午前9:30～11:30陸上競技場本部脇から入ったジョギングコース周辺で行われた。参加者20名。

第2回目は8月1日(土)午前6時30分～8:00陸上競技場本部脇から日和山方面に向かう歩道両側で行われた。参加者15名。下の写真は第2回目の様子。



作業前

作業中

作業後

126 「風の松原の歴史を学ぶ」組パネル完成

秋田県水と緑の森づくり税に基づく森林ボランティア活動支援事業のうち「普及啓発活動費」の助成を受けて作成していたもう一つの事業「<風の松原の歴史を学ぶ>展示用12枚組パネル」が7月1日に完成しました。この組パネルは●月●日から市役所第4庁舎の市民ギャラリーで展示し、その後は各学校の行事等で展示の予定です。(写真は12枚中の8枚)



127 植物名札取り付け作業



7月17日(金)午前9:30～11:30まで植物名札取付作業を行った。一昨年までは樹木名だけだったが、昨年から散策路脇の植物名にも拡大。風の松原では1～2箇所で見られないゴヨウアケビなど新設・補修合わせて35箇所設置。15名参加。

128 風の松原保護検討協議会

この協議会は、松くい虫被害や広葉樹との混交林化等の問題に対し能代市が主導して今年1月に発足。第4回会合の様子が8月3日の北羽新報に掲載されていた。本会の梅田市美さんも委員になっており、11月に予定している会員研修会(日程は未定)で梅田さんから検討協議会の内容についてお話を伺う予定にしている。

＜お知らせ＞今回は「入会案内」を折らないように大型の封筒に入れ、宅配便(80円)でお送りします。